

2007 年度国内競技規則 「技術仕様」に関する変更点の予告

2007 年 1 月 1 日から適用される、ST600・JSB1000 クラスの技術仕様の変更点を中心に告知いたします。

以下の案内（規則変更内容）は、変更に関時間を要するものや重要事項を優先して案内いたしますので、以下の記載以外の規則変更は、12 月 25 日発行の「2007 年度 国内競技規則書」でご確認ください。また、記載内容が若干変更となる場合があります。

○ ST600・JSB1000 技術仕様 共通項目

1. エンジン 2 次ケースカバーの装着について （07 推奨・08 装着義務）

<新規規則>

転倒時に地面と接触する恐れのあるフェアリングに覆われていないオイルを保持する全てのエンジンケースは、2 次カバーを取り付けなければならない。材質は、樹脂製とする。2007 年度は推奨期間とし、2008 年度より義務化する。

この規則は、FIM 世界選手権 耐久・スーパーバイクに 2007 年から記載内容は若干違いますが規則が制定されています。



取り付け前



取り付け例

また、SP250/400・GP-MONO についても、推奨事項として新規記載。

2. サイドゼッケンとサポートナンバーについて

<06規則からの改定 太字が変更点>

- ・ サイドゼッケンの装着位置は、シートカウルの両サイドに変更される。
- ・ サポートナンバーについては、装着の義務化と文字の色の指定（白もしくは黒文字）が新たに改定された。（以下サポートナンバー規則記載事項）

アンダーカウルの左右両面にサポートナンバーを付けなければならない。

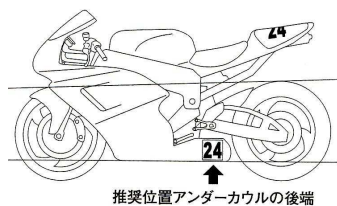
サポートナンバーの貼り付け位置は、アンダーカウル内で、前後のタイヤの上端を結ぶ線の下部内とし、アンダーカウル後端部を推奨位置とする。

サポートナンバーの最低寸法は、2 桁ゼッケン幅 185 mm×150 mm、3 桁ゼッケンの最低幅は 260 mmとする。

この場合のナンバーの地色は自由とし、文字の色は黒か白文字とする。

いかなる場合においても、文字が判別しやすいようにしなければならない。

ナンバーをつけるためのアンダーカウルの形状変更は認められる。アップーカウルとアンダーカウルの分割位置も変更可能とする。



○ ST600 の技術仕様

マシン重量の改定

FIM のスーパースポーツの重量改定に伴い、07 年より下記の通り重量が改定される。

4 気筒 160kg → **158kg (2007 年より)**

2 気筒 172kg → **166kg (2007 年より)**

※ バラストの使用は認められない。

フロントサスペンションとリヤサスペンションの規則変更について

ST600 クラスのフロント・リヤサスペンションについて、スーパースポーツ (SS) と規則を適用と並びに、サスペンションの買取価格を設定された (各社共通価格)

<新規項目>

フロントフォーク

- ・ フロントフォークのアウトチューブ・インナーチューブは公認車両時の状態に維持されなくてはならない。
- ・ フロントフォークの内部パーツは改造または変更することができる。
- ・ フォーク・キャップは、外部から調節できるように改造、または交換することができる。
- ・ 車両公認時のフォークチューブ (支柱、フォークパイプ) の表面仕上げは変更しても良い。追加の表面処理が認められる。
- ・ 上部と下部のフォーク・クランプ (三叉、フォーク・ブリッジ) は、公認車両時のままに維持されなくてはならない。
- ・ ステアリング・ダンパーを追加する、またはアフターマーケット・ダンパーに変更することができる。
- ・ ステアリング・ダンパーは、ステアリングロック・リミティング・デバイスとしての役割を果たしてはならない。

リヤサスペンション

- ・ リヤサスペンション・ユニットは変更、または改造することができる。フレームとリヤフォークのアタッチメントは公認車両時の状態に維持されなくてはならない。
- ・ リヤサスペンション・ユニット・スプリングは変更できる。
- ・ リヤサスペンション・リンケージは、公認車両時の状態に維持されなくてはならない。
- ・ リヤサスペンションユニットを変更した場合の車高調整は自由とする。

買取価格の設定 (太字が改定)

車両買取価格 : 国産車両 **2,000,000**円 外国産車両 **3,000,000**円

部品買取価格 (単位: 円)

・ フロントサスペンション **350,000**円 ・ リヤサスペンション **200,000**円

○ GP フォーミュラの技術仕様

全日本選手権・チャレンジカップ選手権における 125 cc クラスの重量の改定

ライダーとマシンの重量 132kg から 122kg に改定と 08 年への予告事項 (太字が改定)

125cc クラスに関しての車両重量チェックは、ライダーが完全装備で乗車した状態で計測する。ライダーが乗車した状態の車両重量は **122kg** とする (マシンの最低重量は 70kg)。

予告事項: 2008 年より、車両重量 (マシンの最低重量 70kg) のみに変更される。